

バス停タイムス

2017年8月23日

No.43

発行者

成田隆浩

編集者

教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

SMTと団体交渉開催！

私たちは8月10日、「労働条件改善」のために、新幹線メンテナンス東海株式会社（SMT）と団体交渉を開催しました。

日勤遅出勤務の解消を要求！

SMT日勤事業所では、今年3月から車内清掃の多くの班が11:05～20:00の勤務形態となり、生活パターンが大きく変わってしまいました。さらに、遅出勤務が連続することで疲労回復できず疲れがたまる状況になっています。そのため退職者が続発しています。

今回の団交で、遅出勤務を解消し3月以前の体制に戻す事を強く主張しました。しかし、SMTの回答は「業務の実態、必要性及び効率性を考慮して就業時刻を決めている。前体制に戻す考えはない。」というものでした。さらに「遅出出勤が発生したのは交検大掃の廃止に伴うもの」「3.5Hパートタイマーの雇用を守るため」としていますが、実際には新たな勤務形態になじまず、3.5Hのパート労働者も日勤労働者も退職しているのが偽らざる現実です。

今後も私たちはパート労働者の雇用も守りつつ、働きやすい勤務形態にすることを追求します。

「予想を上回る作業量！？現体制は次期ダイ改までの試行！？」 連続作業は3本以内、休憩時間の確保を！！

SMT夜勤事業所では3月の体制見直しで、4班から1班減った3班体制になり作業量が大幅に増えました。さらに7月から突然3班を細分化して5班体制になったことにより、担当が一両あたり2人作業から1人作業になったことで、一人にかかる作業量は増加しています。

今回の団交でその理由を質したところ、「3月に体制見直しをしたが、予想を上回

る作業量になり（7月から）試験的に実施した」との回答でした。つまり7月からの現行体制は、次期ダイヤ改正までの『試行期間』というのがSMTの見解です。このことはJRとの協議が不十分であり、作業量の予想を誤るという基本的な経営計画の失敗と言わざるをえません。

連続作業の問題に対する回答は「連続作業は、極力4本以内を基本に計画しているが、入換計画や検修作業の都合で連続5本を上回る場合もある」としています。わたしたちは、連続作業は2～3本とし、トイレタイムや給水タイムの確保を強く要求しました。

健康で安心して働くためには、一旦3月以前の体制に戻して、そこからより良い体制にするべきです。そのためには職場の皆さん一人ひとりが声を出すことが重要なことです。働きやすい職場にするためには労働組合の存在意義が問われます。

倉庫担当の「最良の要員配置を検討する！」ことを確認！ 座布団汚損対応で感染予防対策の充実を要求！

大井事業所の倉庫担当者の一昼夜勤務体制を解消し、日勤・夜勤勤務とし各2名体制とすることを主張しました。回答は「…今後の業務量の実態に合わせて最良の要員配置を検討していく」とし、今後検討することを確認しました。

さらに倉庫担当者の業務にある座席汚損対応について、汚損状況には何らかのウイルスや感染症の恐れがあるものも含まれます。感染予防対策のために厚手ゴム手袋とより強力な手洗い用消毒剤の配備を要求しました。

他にも多くの要求について協議しました。主な主張点は以下の通りです！
今後も解決に向けて共に頑張りましょう！！

- 日勤遅出退勤時、JKビル前20時08分の通勤バスの新設。
- 通勤バス降車時は、前後の両扉を開き乗降をスムーズにすること。
- 年休を取得できる要員を確保すること。
- 倉庫担当者の二徹勤務指定をやめること。
- JKビルの修繕手配箇所（風呂場・空調）を早急に修繕すること。
- 三島事業所の洗濯場に空調を新設し職場環境を改善すること。

安全と健康を守り、働きやすい職場環境を目指して、一緒に声を上げましょう！！

連絡先(新幹線地本) 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5 TEL03-3201-0350
ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html>
メールアドレス jrcushinkansen@yahoo.co.jp